



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 特集・“ふるさと小包便” 試行
アンケートから…………… 2・3
- 町成人式…………… 4・5
- カメラルポ
「第18回町民運動会」…… 8・9
- まちの話題…………… 10・11



8月16日に田代地区で行われた航空防除



広報

近代的農業の強い味方
安く効率的で防除効果の高い航空防除

稲作の機械化が進むなかで、病害虫の防除作業は依然としてつらい作業となっています。しかし、近年ヘリコプターによる農薬散布が普及、本町でもこのほど黒淵・田代地区で行われました。経費は個人防除よりも安く、しかも散布効率と防除効果が高いとされていることから、今後農薬の空中散布はますます普及していくものと思われます。（関連記事 6 面）

9月

いがしゆり

No. 378

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

届けたいふるさと味の味

特集・「ふるさと小包便」試行アンケートから

「味だよりふるさと」

小包便の会」発足

翌日に宅配

鮮度は「良好」

東京都内発送には特に問題のないことが立証されています。

希望多い「味噌」

春の山菜では「サシ」

図1

「いつ届きましたか」

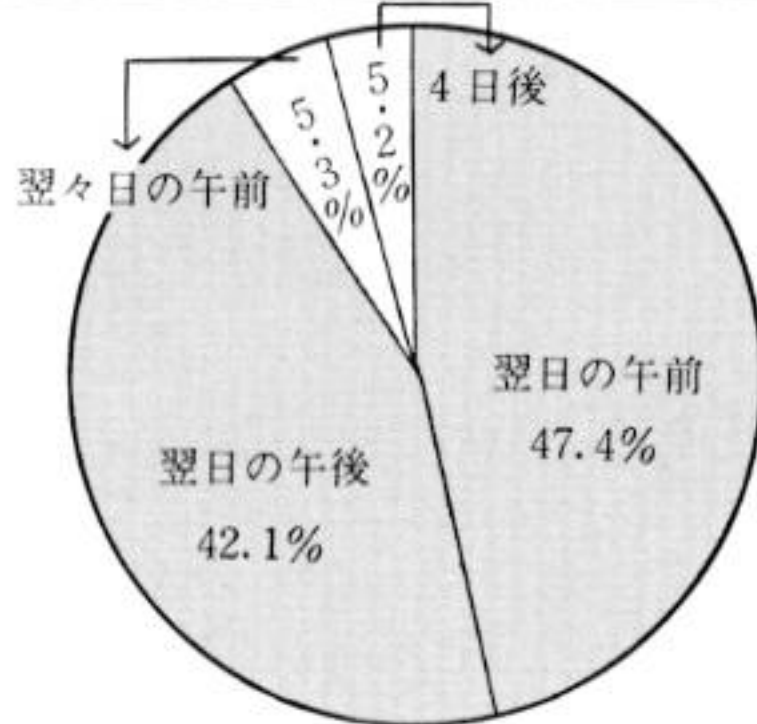
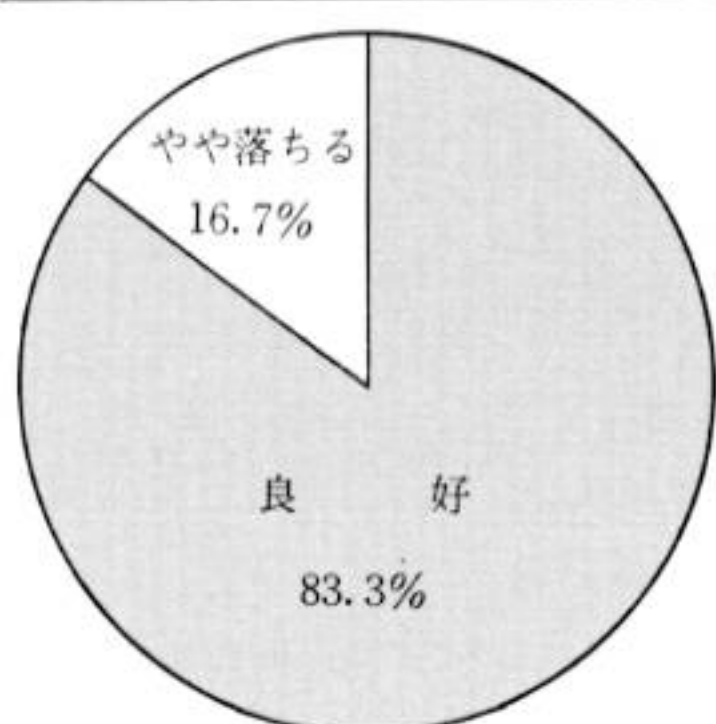


図2

「鮮度はどうでしたか」



アンケート調査は13項目について行われ、東京東由利会々員名簿などにより選ばれた25人のうち21人が回答（回答率84%）してくれました。

まず、宅配された日時（図1）では、翌日の午前が47・4%、同午後が42・1%、翌々日の午前が5・3%で、全体の89・5%が発送日の翌日に宅配されています。このほか、例外として住所変更によるトラブルで4日後に配達されたものが1件ありました。

次に、鮮度について（図2）は、「良好」が83・3%、「やや落ちる」が16・7%で、同梱したアイスパックの状態は89・5%が「溶けてはいるが冷水状」と回答。これらから、山

菜など生鮮食料品でも、アイスパック同梱であれば宅配便での

前略
新緑の美しい季節となりました。このこと、たいへん喜ばしく思っています。皆様お褒めいただき、ありがとうございます。この機会に、ふるさと小包便の試行アンケート調査の結果をお知らせいたします。調査の結果、山菜の鮮度は「良好」が83・3%、「やや落ちる」が16・7%と示されています。このほか、例外として住所変更によるトラブルで4日後に配達されたものが1件ありました。また、山菜以外でふるさと味の味として希望するものでは、味噌が圧倒的に多く、次いで漬けもの（味噌漬け含む）、ほしもち、米、くだもの順でした。こうした回答結果から、郷土出身者の「ふるさと味」に寄せる想いの大きさがうかがわれます。

（次ページへ）

「ふるさと宅急便」 「ふるさとの味だより」 など、郷土出身都市居住者に対する地域特産物の宅配販売事業が、県内外各地方で盛んに行われています。

本町でも、町出身の都市居住者や町民からそうした事業を望む声が高まっています。

こうした気運の中で、このほど町内商業関係者らが、「味だよりふるさと小包便の会」(佐藤達男代表)を発足、町と提携して会員制による「ふるさと産品の定期頒布事業」を企画中です。

同会では、この事業を利用者のニーズに即した内容で実施したいとし、今年5月「ふるさと小包便」を試行。東京在住の町出身者の中から25人を選び、春の山菜(サシ、ホナナ)をアイスパックを同梱して送付するとともに、アンケート調査を行いました。

ここでは、そのアンケート調査の結果と、試行を受けた方たちの声をご紹介します。

「懐しい味ありがとう」

ここでご紹介するのは「ふるさと小包便」の試行を受けた方々の意見・感想の一部です。

希少価値は商品価値を高め、ハウス栽培は季節感もなく、ふるさとの味わいもありません。自然の味、伝統の味を維持し続けてください。そして、その橋渡しとなつてくださいます。事業開始の節にはぜひ加入させていただきます。

本日は誠に懐しいふるさとの香りと味をお送りいただきありがとうございます。今後、事業として発展させるためには様々な工夫と、なお一層の御研究が必要かと存じます。ぜひ成功させ町発展の起爆剤となれることをご期待申し上げます。

前金でも

「加入したい」

味だより「ふるさと小包便」の企画に対しては(図3)、90・5%が「楽しい」と答え、そのうち

ちの84・2%が「加入したい」(図4)と答えています。また、同会で計画している年5回分1万円の会費の額については、90・5%が「適当」とし、そのうち68・8%が「前金で加入する」と回答しています。

来春から本格的に

「ふるさと小包便」を開始

今回の調査では、企画に対するニーズ、鮮度保持のため所要日数、会費の額などが要点で、回答結果にみるかぎりではいずれも満足できるものだったように思われます。

しかし、アンケート回答中で、同企画は「ありふれている」(9・5%)、「会費が高い」(9・5%)などのほか、「送料代金のウエイトを大きく感ずる。工夫の必要はないか」などの意見・感想

もあり、今後の事業実施までの大きな課題となりそうです。同会では、これらのアンケート結果を研究資料とし、充分な検討を加えた上で来春には本格的な「ふるさと小包便」を開始することとしています。

ご意見・ご要望を0184・69・2512番佐藤達男さんにお寄せください。

久しぶりにふるさとの香りを楽しみ、過ぎ去った日の懐かしい事など思い出しながら賞味しました。この企画は大変けっこうなこととは思いますが、品物代の3倍もの経費をかけてとなると考えこんでしまいます。



山菜の無い時季には、漬物(あまり加工しないもの)や豆類等も良いと思います。夏には産地で直接受け取るなどのイベントもどうでしょうか。今後の企画として、山菜の鉢物(栽培したもの)なども良いと思います。活気ある町づくりに努力されているように山菜の味とは別に久しぶりにふるさとを感じました。事業として今後発展されることを期待しております。

図3

「ふるさと小包便」の企画は……

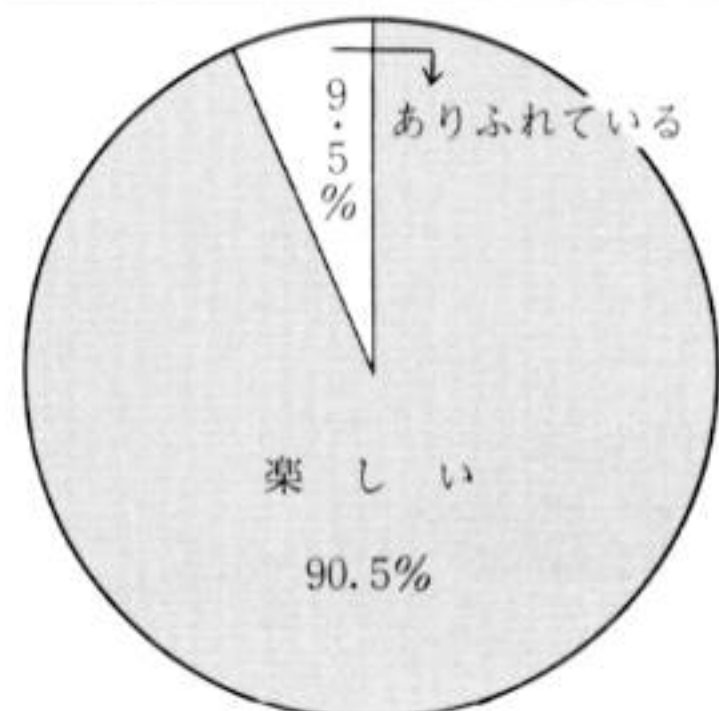
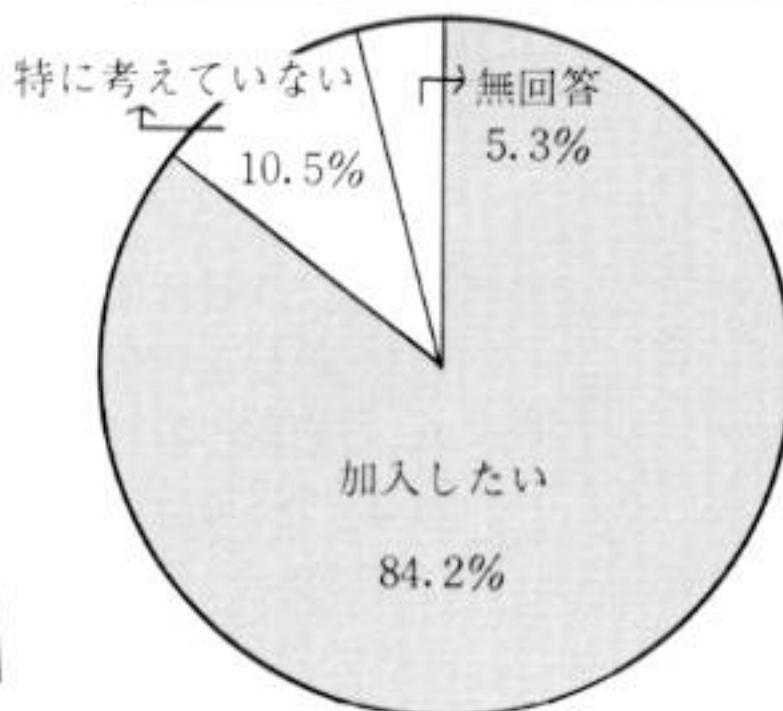


図4 (図3のうち)

「ふるさと小包便」に加入は……



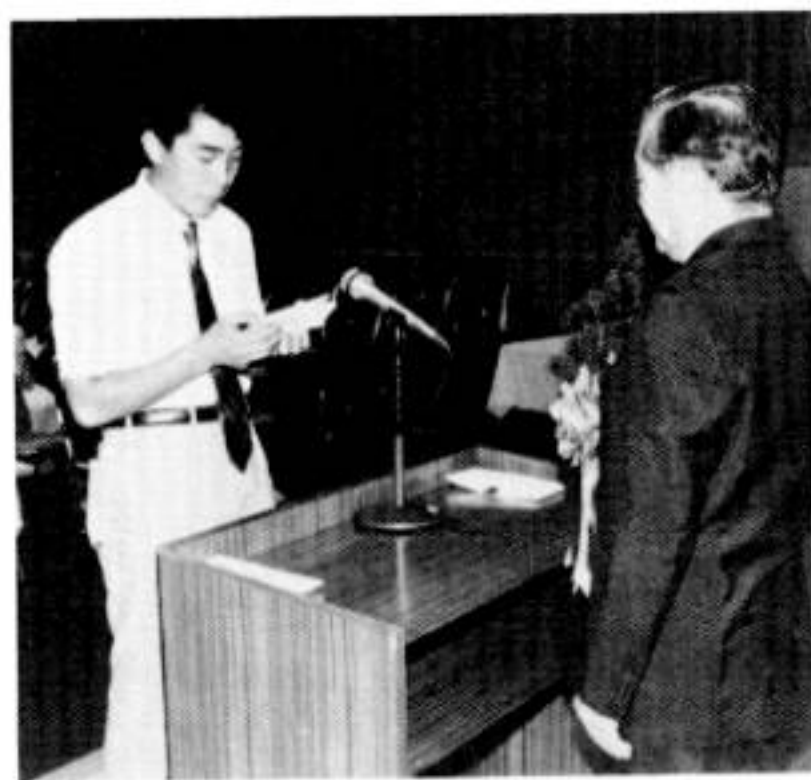
発送内容を前もって一覧とし、希望のものを選択できるようにしたらどうでしょうか。また、調理する人が田舎出身でない場合も考え、「調理のしおり」をできるだけ詳しくくした方が良く考えます。

生かせ はたちの力

祝 ご成人おめでとうございます



「今度は私たちが町を支え変えていく番です」



ここで紹介するのは、成人式典で新人者を代表して畠山明くん（茂沢）の述べた「誓いのことば」（全文）です。

本日私達が、成人として第2の人生を踏み出すにあたり、このような盛大な式を挙げて出発を祝っていただいたことに、心からお礼申し上げます。

早いもので、グラウンドで白球を追ったり、それぞれの部活で汗を流していたところから数年たち、今、晴れてこの成人式を迎えています。頭の中では、今までの数多くの思い出が駆け巡っています。その思い出、経験を土台にして、これから社会人の仲間入りをするわけですが、今までのように、親に甘え、地域の人々に甘えたままでは、これから先は通用しないでしょう。

成人を迎え、これで自由になったとよく言いますが、その言葉の裏にある「責任」と

「自覚」という言葉を忘れてはならないのです。

「はたち」今が私達にとって一番輝いている時であり、何にでも挑戦できる時です。失敗を恐れず、社会の荒波にもまれながらも、決してその波にずるずると押し流される事なく、しっかりとした目標と信念を持って歩いていきたいと思ひます。

いつだったか、新聞に「過疎の町東由利」というみだしがついていた事がありました。たしかにそうかもしれません。しかし最近では、誘致企業が入り、老人ホームができ、今は、この有隣館のとなり町民体育館を建設中です。また、台山グラウンドの下の空地にはテニスコートを作る予定になっています。そうでここ2・3

（次ページへ）

社会に

90人が大人の仲間入り

祝盃上げ20歳の門出を祝い合う

晴れて大人の仲間入りをした若者たちを祝う成人式が8月15日有鄰館で行われました。

今年成人式を迎えたのは、昭和40年4月2日から41年4月1日までに生まれた90人で、そのうち出席者は80人でした。式典は午前9時に始まり、新成人を代表して小松正義くんに成人証書が、遠藤卓哉くんと佐々木由美子さんに記念品が畠山町長から贈られました。町長の式辞、町議会議長の祝辞のあ

と、新成人を代表して畠山明くんが誓いのことばを述べ式典を終了しました。このあと、秋田魁新報社論説委員長

の渡部誠一郎氏が「二十歳を考える」と題して講演。渡部氏は、「人生はやり直しがきかない。しかし20歳ならまだ間にあう。若いうちの努力は必ず実る。失敗を恐れず頑張ってほしい。」と、新成人を励ましていました。記念撮影のあと、同会場で祝盃を上げ、20歳の門出を祝い合いました。

年、この町も少しづつ確実に変わってきています。

今度は私達がこの町を支え、変えていく番です。一人一人の力は小さくても、みんなが集まり、話し合う、この一つ一つの積み重ねを大切にしたいと思っています。

また、今日この式に参加したくとも参加できなかった男がいます。そんな彼のために私達は、精一杯生きていかねければならないのです。これから私達の行く先には、何が待ちうけているか分かりません。後で自分の歩いてき

た道を振り返った時に、自分の足跡が見えなかったということがないように、今日を精一杯生きて行きます。それが明日へとつながることですから。

なんとなく今の仕事について、なんとなく毎日過ごしている、こんな人が最近増えてきています。そんな中で私達は、無気力な人間にならず、いろいろなことを学び、体験する一歩一歩の積み重ねを大切に、明るい将来を目指したいと思っています。

満20歳——私は北海道の大自然の中で、山とスキーに明け暮れる日々でした。

クラーク博士の「ボーイズ・ビー・アンビシャス(少年よ大志を抱け)」の言葉を胸にたぎらせながらこれから、どんな人生を歩もうか……?

混沌とした青春時代のまっただ中で悩みました。やはり自分が専攻した学問・動物生理学を生かして、獣医の道を選ぼうか、それとも自然を相手にするスキーヤーとしての道をとるか……。そんな思いが交錯する毎日でした。

捨てなくてよかった 大好きな自然とスキー

結局は大自然の魅力を断ち切ることができなかったわけですが、いま振り返ってみる



昭和七年青森市生まれ。北海道大学卒。四十五年、エベレストでの世界最高峰地点スキーの記録樹立。富士山や北極・南極などでの滑降で知られるプロスキーヤーの第一人者。(青森大学教授)

と、何よりも好きだった自然とスキーを捨てなくてよかったと思います。実は私の息子(長男・雄太さん)も皆さんと一緒に、ことし晴れて成人式を迎えますが、父親としてこんな言葉を贈りたいのです。「20代は人生における『迷いと選択の時代』だ。」

20代は『迷いと選択の時代』

プロスキーヤー 三浦雄一郎

と危険の隣り合わせです。しかし、仮にもプロといわれるからには、命がけでロマンの花を咲かせなくてはけません。そのためには、用意周到な準備が必要です。そして何にもまして大事なものは、自分を見失わないことです。

自己の精神をいつも厳しいままで眼で見つめてみることです。

自分の内面を見据える 厳しい目を持つ

いまの若い世代は、わたしたちの時代には考えられないほどのいろいろなことが、安々とできる環境にあります。例えば留学

や海外旅行がそうです。

その気になればすぐにも世界へ飛び出して行けます。そして、いろいろな人たちとつきあえます。たいへん恵まれた時代に皆さんは生きていくわけですが、しかし、いろいろな聞いてみると、せっかくのチャンスを無駄にし

ているように感じられてなりません。ただ明るく、はしゃぎすぎて、自分を見失い、とまどってばかりいるような気がしてならないのです。

国際化時代を迎え、これからの日本人は、真の国際人として、地球的な規模の連帯感を全世界の人々から求められるようになると思います。

そのためには、次代を担う皆さん一人ひとりが、『迷いと選択』の過程で、自己の内面を見据える厳しい眼をもつていただきたい。そしてどんなときにもチャレンジ精神を忘れないで、『国際化時代』にふさわしい日本人をめざしてほしいと思います。成人になられた皆さん、おめでとう。

進んでいます 手づくりのまちづくり

7団体に奨励金を交付



大蔵桜梅の会による桜の手入れ

町民の自発的活動は住みよい町づくりの原点

町では、今年から始めた「地域手づくり事業」の実施について、7月末までに報告があった7団体にこのほど奨励金を交付しました。

「地域手づくり事業」とは、地域連帯意識の啓発や地域活性化につながる意欲の呼びおこしを図るために、地域や自治会、グループなどの団体が行う自発的諸事業において推奨に価するものに町が奨励金を交付する制度で、これまで広報等で趣旨をPRしてきました。

その結果、7月末までに自治会や有志など10団体から照会が寄せられ、このうち届出があった自治会3、有志団体3、地域団体1の7団体に8月11日町役場で奨励金を交付しました。

奨励金は、団体の規模や事業の内容により異なり、このたびは1団体当たり5万円から2万円の枠で交付されました。

交付を受けた団体の事業内容別では、地域環境の整備に関するもの4、青少年の健全育成1、祭りの創造1、製炭技術の復活1で、いずれも地域連帯意識の啓発や地域活性化など、制度の趣旨が満たされ奨励に価する事業を行っています。

こうした町民の自発的な活動は、明るく住みよい町づくりの原点ともいえ、町では今後も予算の範囲内で届出を受けつけることにしています。

●八塩山麓会（長谷山光会長

・12人）

八塩山観光開発の一環として、また、地域活性化のため八塩ダム周辺一角に「炭焼小屋」を建築。昔ながらの木炭造りと地域住民のいこいの場として活用している。（事業費150万円）

●葎沢自治会（佐藤好男会長・17世帯）

「町を明るくしよう運動」を展開しており、その一環として地区内に防犯灯5基を設置、青少年の非行防止や夜間の交通安全に役立てている。（事業費13

万円）

●大蔵桜梅の会（阿部七郎会長・59人）

地域内の公共施設を主に、桜や梅、ツツジなどを植栽、その保育管理を行うなど、地域の環境美化活動に取り組んでいる。

地域手づくり事業実施団体

（事業費年間11万円）

●館合新田自治会（長谷山雄悦会長・38世帯）

自治会員自らの労力奉仕でコミュニティ広場を造り地域活

動の拠点として利用している。

（事業費32万円）このほか、民俗芸能の保存など、伝統行事の継承に努めている。

●住吉夏祭り実行委員会（小松佳和代表・20人）

地域青年の仲間づくり、青年

長・79世帯）

鹿島神社境内の一部をコミュニティ広場として整備。防護柵の設置、石碑の建て替え、ツツジの手入れなどを行っている。

（事業費27万6千円）

●蔵地区コミュニティ協議会（石渡力造会長・47人）

青少年健全育成運動の一環として声かけ・あいさつ運動の看板設置などに取り組んでいる。

（事業費9万5千円）。ほかに、親子納涼盆踊り大会、家族大運動会など幅広い地域活動を展開している。

●新町自治会（志村惣一郎会

英霊よ
安らかに……

町追悼式を挙る

町戦没者追悼式が8月20日有鄰館で120人余りが参列して行われました。

畠山町長の式辞に続き黙とうが、天皇陛下のおことばが続いて来賓から追悼のことばが捧げられました。このあと、追悼標に参列者一人ひとりが献花、諸英霊の安らかな眠りを祈り、遺族代表が謝辞をのべ式典を閉じました。



追悼標に献花する参列者

黒淵・田代で
航空防除実施
来年度は全町一斉に

東由利町航空防除協議会（畠山亮二郎会長）では、いもち病の発生しやすい地域でもある黒淵・田代地区の水田約120畝を対象に、このほどヘリコプターによる農薬の空中散布を行いました。

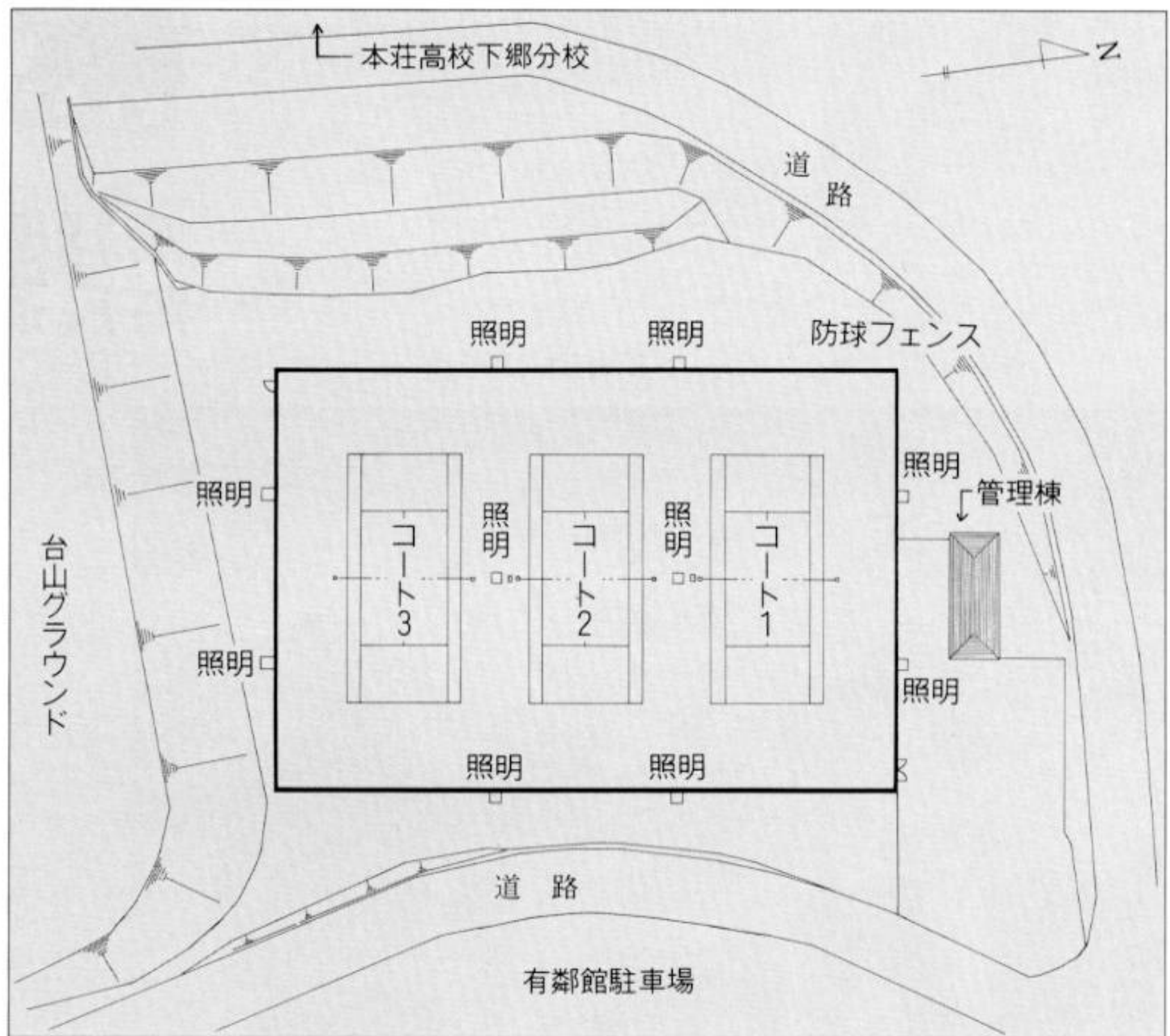
（次ページへ）

ナイター設備の

若者に魅力ある町づくりをめざして…

テニスコート今秋に誕生

働く仲間同志で仕事のあとにこことよい汗を流せる場が欲しい——そんな若者たちの願いがかなない、ナイター設備のテニスコートが今秋に誕生します。建設地は本町中心部の台山地区で、同地区に建設中の健康増進センター（体育館）とともに若者たちは完成の日を首を長くして待っています。



テニスコートの建設は、8月25日に関係者30人余りの出席で地鎮祭が行われ、翌日から本格的な工事がスタートしました。建設地は、本荘高校下郷分校と町総合開発センター有隣館との間にある町有地4千5百52平方メートルで、コート3面、管理棟1棟（約39平方メートル）、夜間照明10基16灯などが設備されます。

また、コートは準全天候型で、小雨でも使用できます。同施設は、町誘致企業「秋田信英（株）」が本町に立地したことにより「工業再配置促進費補助事業」という国の補助事業が適用になり建設されるもので、総事業費は5千百万円が見込まれています。完成は本年10月下旬の予定です。



- 敷地面積 4,552㎡
- 設備
 - ・準全天候型コート 3面
 - ・夜間照明 10基16灯（メタルハライドランプ）
 - ・管理棟 木造平屋1棟 約39㎡（トイレ、更衣室、休けい室）
- 総事業費 約5,100万円

同散布は、出穂期の8月6日、16日の2回、いずれも早朝に行われ、収穫時期の葉たばこや養魚への影響が心配されていましたが、特に問題もなく無事に終了しました。航空防除は、共同防除や個人防除に比べ経費が安く、散布効率や防除効果が高いことから、同協議会ではすでに導入されている大型防除機との協調を図りながら、来年度から全町的な一斉防除を計画しており、今後、地区ごとに座談会を開き農家の理解と協力を呼びかけていくことにしています。



「アメシロ」の2世代虫に注意！

緑の大敵「アメリカシロヒトリ」の第2世代虫の発生が予想されています。早期発見、自主防除に努めてください。

〔防除方法〕

- 1、幼虫が葉網に入っているうちに枝ごと切落とし、虫を焼き殺すか、すりつぶす。
- 2、薬剤を散布する。（ディプレックス乳剤を5百～1千倍に希釈・または、スミチオン乳剤を1千5百倍に希釈）



優勝めざして気合いの入った入場行進の選手団

かえ来

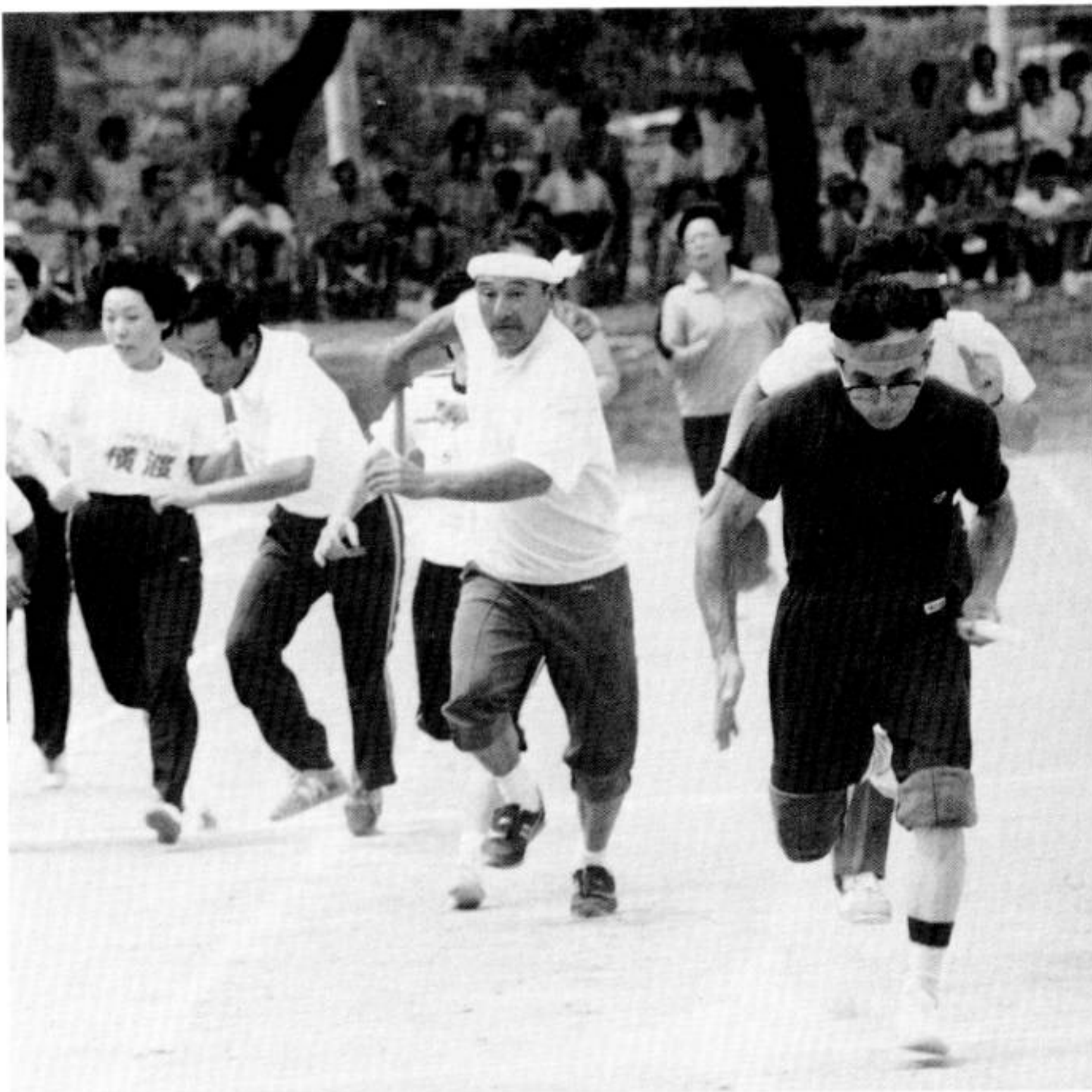
第18回 町民運動会

老いも
若きも
はつつ
笑顔

第18回町民運動会が8月24日台山グラウンドで約3千5百人の町民が参加して行われました。

自治会対抗の各種目には、それぞれに昨年より4チーム多い42チームが参加し、人口の大小に関係ないチームワークのとれた熱戦が繰り広げられました。

競技の結果は、自治会対抗ではスウェーデンリレーで大琴、つなひきで館合新田、ボール送りで祝沢・茂沢、満杯リレーで蔵が優勝。総合では優勝が蔵、準優勝が大琴と祝沢・茂沢の2チーム、第3位が蔵新田でした。



スウェーデンリレーには往年の陸上選手たちがずらりと出場。





総勢630人が出場したボール送り



応援賞に輝いた
蔵新田チームの応援ぶり



ゴールテープを目前に思わずこぼれた勝利の笑み



42チームがねらった
総合優勝の大トロフィーは、
2年ぶりに蔵チームへ



●歳時記

名 月



『月月に月見る月は多けれど、月見る月はこの月の月』と言う歌があります。月はやっぱり中秋の名月に限ります。中秋の名月にスキヤ団子を供えて月見をする風習は各地にあります。また、イモ名月と称して、サトイモを供える地方もあります。月の中にウサギがいると言う話は、日本ばかりでなく中国、インドなどにもありますし、メキシコインディアナなどにも月のウサギの話が伝わっているそうです。人間は古くから月にロマンを感じてきました。その月に、初めて人間が降り立ったのは、1969年のこ

とでした。アメリカのアポロ11号が7月20日に月の『静かの海』に着陸し、アームストロング、オルドリンの二人が月に立ったのです。『一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとって大きな飛躍である』と言ったアームストロングの言葉は有名です。人類が大きな飛躍をとげた代わりに、月のロマンはなくなってしまうのかと思いましたが、最近では、昔にも増して中秋の名月の行事が盛んなようです。アポロ計画の変更に、月のウサギは静けさが戻ったと喜んでいられるかもしれません。

まちの話題

Machino wadai

「やっぱりふるさとはいいな」

第2回ふるさと交流を開催

町観光協会が、お盆帰省者などを対象に昨年初めて開催、好評を得た「ふるさと交流」が、今年も8月15日に朋楽荘で行われました。参加者は100人余りで、午後1時に集合「町内めぐり」で町の変ぼうぶりを見学したあと、しぼりたての冷たい牛乳を飲んで小休止。『思い出広場』で「地下の沢番楽」や町民謡同好会による民謡を鑑賞しながら、「ふるさと交流会」でとりたてのヤマメ塩焼、おはぎ、トウモロコシなどのふるさとの味覚に舌つづみを打ちました。帰省者らは「やっぱりふるさとはいい。参加してよかった。」を繰り返していました。



とりたてのヤマメ塩焼に舌つづみを打つ帰省者

いまでも続く「ほとけの迎火」

お盆を前に畑村自治会の子どもたち

毎年8月6日、ここ畑村では子どもたちによって、「先祖の仏」をお盆に迎え入れる「ほとけの迎火」が行われています。これは、古くから伝わる子どもたちの行事で、今年も自分たちがカヤで作ったタイマツに火をつけ、「じーだ、ばーだ、この火できとーれ、きとーれ」と唱えながら墓地に「ほとけ」を迎えに。むらはずれの橋の上からタイマツを川に流し、帰り道「よもぎ」、「すすき」をとって神前に。無事迎え終わると、子どもたちはお菓子を食べながら花火を楽しみました。

特選は小松さんに

町内観光写真審査結果

町観光協会が、町民の観光意識の高揚などを目的に、昨年度の夏秋季分に続いて募集した冬春季分町内観光写真応募作品の審査結果がこのほど発表され、次の方々が授賞しました。(敬称略)

応募点数は、リバーサル

イルムの部7点、カラープリントの部4点ときわめて少なかつたものの作品は粒よりの秀作揃いで主催側を喜ばせ、前回の応募作品を含めて、それらの作品の一部がこのたび発行された町の観光リーフレットに採用されています。

- ▼特選 小松武(五海保)
- ▼入選 1点 小松武(五海保)
- ▼努力賞 渡辺幸夫(下通)

大坂イヨ(同)

卓也くん大会記録やぶり2位に

全県少年少女陸上競技大会男子百メートル走

秋田県少年少女陸上競技大会(秋田県陸上競技協会主催)兼第2回全国少年少女リレー競走大会秋田県予選会が、7月27日県立八橋陸上競技場(秋田市)で行われ、本荘由利地区の代表で出場した大琴小6年遠藤卓也くんが、男子百メートル走で大会記録(12・9秒・昭60)を上回る12・8秒で第2位に、

で第3位(13・8秒・大会記録は13・5秒)に入賞しました。健闘を心からたたえま



遠藤卓也くん(左)と池部純恵さん(右)



墓地で「ほとけ」を迎える畑村の子どもたち

女子高生この夏の貴重な体験

夏休み利用しボランティア活動

高校生の夏休みといえば、「非行」を連想する方もいると思いますが、ここで紹介するのはそのさかさ行為の「ボランティア活動」。実は、8月6、7日の2日間、蔵地区の女子高校生8人が、町特養老人ホーム東光苑にかけつけ、入居者の世話などをしてくれました。いずれもこうしたことをするのは始めて。「喜ばれたことがとてもうれしかった」と、声を合わせて話す、この夏貴重な体験をした8人の女の子たちでした。



入居者の世話をする女子高校生たち

野球狂が2年ぶり5度目の優勝

第28回町社会人野球大会



5度目の優勝に輝いた野球狂のメンバー

第28回町社会人野球大会が8月16日から3日間台山・町民両グラウンドで行われ、昨年より4チーム少ない18チームが熱戦を展開。その結果野球狂が2年ぶり5度目の優勝を飾りました。決勝戦は、野球狂と5年ぶり2度目の優勝をねらう玉米パワーズとの試合で、野球狂は3回と5回に得点した3点を守りきり玉米パワーズに完封勝ちしました。

今大会で、最高殊勲選手賞は小松徳重さん(野球狂)に、敢闘選手賞は塚田博さん(同)と嶽石一人さん(玉米パワーズ)に贈られました。

	1	2	3	4	5	6	7	計
玉米パワーズ	0	0	0	0	0	0	0	0
野球狂	0	0	1	0	2	0	×	3

本町出身の佐々木さん

二度目の挑戦で

チャンピオンの座に

「本荘追分」全国大会



佐々木忠男さん

今年5月、「広報ひがしゆり」にお便りをくださった本町久保出身の佐々木忠男さん(東京都足立区東和5の11の23)が、8

月16、17日に本荘市の本荘文化会館で行われた第3回「本荘追分」全国大会(本荘市商工会主催)で、みごと優勝を飾りました。

佐々木さんは昨年の第2回大会にも出場、惜しくも準優勝に甘んじ今大会に再度挑戦、みごと栄冠を勝ちとったものです。

第3代チャンピオンに輝いた佐々木さんは、優勝トロフィーをはじめ多くの賞品を手、「わざわざ来たかいがあった。みなさんによろしく」と言葉を残し、その日のうちに帰京されました。

町長の喫茶室



町長
畠山亮二郎

今年、体育施設充実の年。

町民憲章は、「身体をきたえ健康で明るい町をつくりたい」と宣言している。

その実践のためには、当然のことながら体育施設の充実を急がなければならない。

実行力を旗じるしにして、行政を担当している以上、これは私の責任でもある。

若い町民の方々と語り合う機会に、よく出る話題のひとつ：働く仲間同志で快

よい汗を流す場所を：仲間づくりの施設を：早く建設して欲しい：これは共通の

話題であった。この念願にこたえて：今年、いよいよ二つのスポーツ施設の建設落成をみる事ができる。

うれしい限りである。

行政施策は、言うに易いが、実現までには幾多の苦難が伴うもの。財政の乏しい町。国の補助金を確保し

て建設することこそ、私に課せられた責任。日ごろ、実行こそ政治と心得ている私は、このニーズにこたえるために、一昨年以來県に、国に、東奔西走してやっとこのたびの目を見るに至ったもので、感慨無量である。

農林水産省からは、「健康増進センター」(町民体育館)、通商産業省からは、「夜間照明付テニスコート」の建設が、それぞれ認められ、建設に着手することができた。

いま、健康増進センターとともに、テニスコートの建設がはじまっている。

特にテニスコートは、誘致企業として「秋田信英株式会社」が立地したこと

に対して、通商産業省が「工業再配置促進補助金」を交付して建設するもので、つまり、企業誘致が成功した

ことにより、その余録として、テニスコートの建設をもたらしただけになる。

勤労者の健康増進施設として活用するために、夜間照明付の施設として建設することになったが、勤めを

終えたあと大いに利用していただきたい。若い人びとのみならず、テニス愛好者

これからやる方々、みんな

で楽しんで欲しい。健康で明るい町づくりのため

「企業誘致余録」——テニスコートの建設

みんなのひろば



工藤 辰也くん・久保
21歳・堅之助さん長男

ヤングレポート

**長い修業で拓いた
「左官」の道**

本町でただ1軒の左官業を営む菊地幸正さん。

「飯の食いはぐれのない仕事を…」と、中学卒業後左官職人めざして東京で修業するところ7年。「弟子として過ごした厳

**われら中年
がんばります**

菊地幸正さん
館西・47歳



しい生活の中で、人間関係のむずかしさをいやというほど知らされた。これまでの人生で最もつらいときだった。」と、当時を思いおこし、語ってくれました。

昭和36年に帰郷し、地元で3年間修業後、昭和39年に晴れて左

官業を開業。「裸一貫でのスタートだったが、長い修業で培った根性で、地道に仕事をし、何とかここまでできた。」と、長く苦しかった下積み生活に懐しみを込めながら語ってくれました。

現在3人の職人と共に、仕事ぶりに高い評価を得ながら、町内外で手広く仕事に精を出しています。

二人の娘はすでに社会に巣立ち、理容業を営む妻ヨシさんと二人暮らし。毎晩2合の晩酌を欠かさないお酒好きで、飲むほどに陽気に…。また、魚釣りの趣味をもち、「2尺5寸ほどの鯉を釣ったときの感激は忘れられない。」と、笑みをうかべながら話してくれました。

28

家族は：

両親、祖父母、弟の6人です。
成人式を迎えてひと言：

20歳の誕生日を迎えてから1年が過ぎましたが、大人としての実感はまだありません。しかし、最少限の認識はもっているつもりなので、これから本当の意味の成人に少しずつ近づいていきたいと思っています。

いま一番したいことは：

仕事柄忙しくて休みがとれないんですけど、できれば10日ぐらい休みをとってヨーロッパに旅行にいきたいです。

夢は：

絵が好きなので、将来自分の書いた絵の個展を開くことです。

私の赤ちゃん

26

高橋啓太ちゃん(館合新田)

60・7・24生まれ

満さんと裕子さんの長男



おじいちゃん子の啓太は、おじいちゃんが仕事から帰ってくると、すぐ「だっこ」をせがむ甘えん坊です。よろこび歩きがようやくできるようになったものの、危なく目を離すことのできない毎日です。健康で、心のやさしい子に育ってほしいものです。

東山利の文芸

百姓のこよなき極暑神に謝す

酷暑にも堪えて心頭滅却す

極暑とて天笠木綿肌にする

滝つぼにしばし極暑を逃れけり

馬草路極暑に樺一樹あり

錠剤を一つふやして極暑堪え

主婦の旅心仕度を冷蔵庫

冷蔵庫開きて夜のメニューきめ

阿部 義直(沼)

小松鉄太郎(下通)

小松慶治郎(高戸屋)

小松 徳蔵(湯出野)

菊地 常作(湯出野)

高橋 秀子(横渡)

小笠原亮子(蔵新田)

小松メサコ(下小路)

(次ページへ)



遠藤喜恵子さん
(新処)

真剣な取り組みほしい
人口の高齢化問題



9月15日は敬老の日。そして15日から21日までは老人福祉週間です。現在、65歳以上のお年寄りには10人に1人で、30数年後にはなんと5人に1人の割合になるといわれています。

もともと、平均寿命が大幅に伸び、今後は「人生50年時代」から「人生80年時代」に入るともいわれ、老後を「余生」とする考え方や生き方に大きな見直しが迫られているようです。

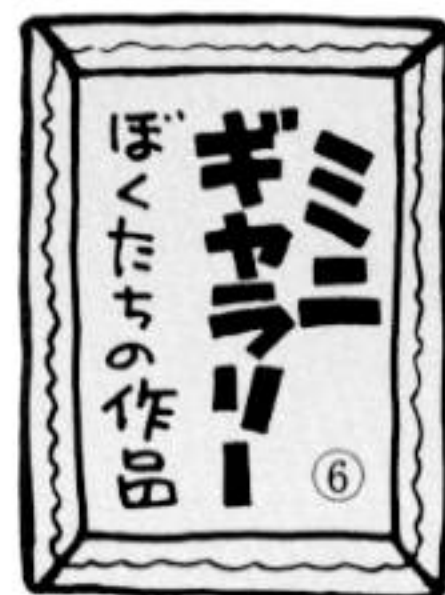
わが町でも人口の高齢化が、よそより急速に進んでいます。特養老人ホームなど、福祉面の施策の充実と併わせ、高齢者の雇用の場、生きがいづくりに、他町に先がけて真剣に取り組んでほしいと、敬老の日を前に痛感したことでした。

みんなのひろば



阿部淳一くん
大琴小・5年

題・「自画像」



畑山純子さん
大琴小・5年



金婚さんいらっしゃい

佐藤

蔵治さん・

ノブヨさん・
67歳 69歳
蕨沢・結婚歴50年



今年金婚を迎えた佐藤蔵治さんとノブヨさんご夫妻。

町敬老会には都合がつかなくて参加できなかったということ、二人ともとても残念がっていました。しかし、この夏、息子や娘が次々と帰省、贈り物をするなどそれぞれに金婚を祝ってくれたと、うれしそうに話してくれました。

7年前に心筋硬塞で生死をさまよう大病に襲われた蔵治さんは、数年で少しずつ回復し、今では19頭の牛の世話をほとんど一人で行う元氣ぶり。

妻ノブヨさんは、そんな蔵治さんを見守りながら、一切の家事や畑仕事に精を出しています。お二人ともどうぞいつまでもお元氣で。

公民館「図書」案内

●日本の古代4縄文・弥生の生活(森浩一) ●日本の海洋資源と開発(斎藤公男) ●スポーツルール大事典(佐々木吉蔵) ●チロヌップの子さくら(たかはしひろゆき) ●回転木馬のデッド・ヒート(村上春樹) ●終りなき旅「中国残留孤児」の歴史と現在(井出孫六) ●安曇野の強い風(丸山健二) ●変貌する農村と婦人(丸岡秀子) ●よみがえれ黄金の島(小山重郎) ●おんなの昭和史(永原和子) ●タツクル右往左往(野坂昭如) ●ムラは語る ●心育て・新しい情操教育(荻野忠則)

食卓に水備えおく大暑かな
阿部 澄子(蔵)

甲子園炎暑にとばすホームラン
小野 貞子(蔵新田)

冷蔵庫開ければ電話鳴りにけり
小笠原トミ(蔵新田)

わが町 スムアツ



ヤブガラシ (ブドウ科)

郷土の野草



⑮

別名を「ピンボウカズラ」といいます。細いつるを伸ばして節から分かれて出てくる巻きひげが、他の植物にからみついてどんどのびます。葉は互生して柄があり、先の方の分かれた先に淡緑色の四弁花を並べてつけ、やがて黒く熟した果実になります。この草は根茎の生長力、繁殖力が旺盛で、少しぐらいの除草剤など受けつけずヤブまで枯らしてしまうのでこの名があります。また家の周囲がこの草にとり囲まれると、いかにも見すばらしいたたずまいになるので「ピンボウカズラ」の名もあります。はれもの、毒虫にさされた時、生の根茎をつぶし粘液をつけます。

(小松忠正)



②⑥

東由利町を偲んで

このたび数年ぶりに帰省し、当町の発展の素晴らしさに感銘致しました。当町の進展には驚嘆するものばかりで、皆様のご盡力が、一本の農道にも、散布された一塊の碎石にも、一棟の建物にも、努力の手型と足跡が残っているように見えました。

畠山仁吉さん
(寺田出身・67歳)

昭和初期から現代まで色々と苦勞のあった事が胸に迫るものがあり、我が身の凡々たるに愧れを感じた次第です。国道107号線沿を、親類の方々の詳しい説明で一巡し、住家も非住家も新建材で装飾された現代的「カラフル」さは、都市住宅と遜色のない肅清で、音楽の聞こえる西欧の街灯を見ている思いが致しました。

此の地(東由利町)は、昔か

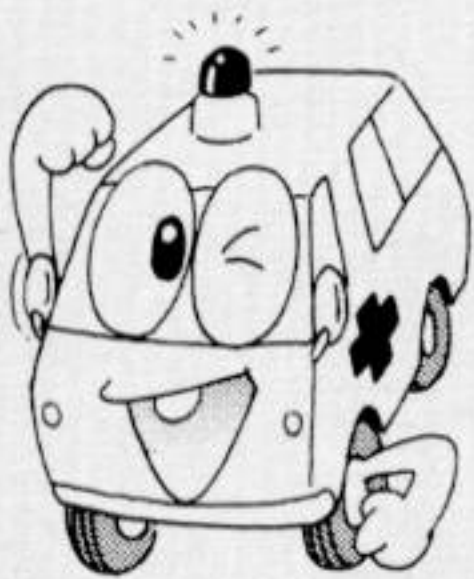
ら豪雪・峻山に拒まれた交通不便な後進地域であり、雪害には古人も幾度となく泣かされた昔日の歴史がある。現代は、雪を利用して産業を興し、スキー場等を開設したり、流雪作業を就労対策の一助にしたり、融水施設を建設して灌漑・消雪に利用する等の施策は、戦前戦中には考えられないう画面的な事業で、永年住民を悩ました豪雪は、他視するに堪え難いものがありました。皆様の不撓不屈の努力には深く感謝申し上げる次第です。

東由利町の皆様、ご健康で今後の発展に頑張ってください。
(お住い・仙台市東勝山3丁目6番19号)

お元ですか
保健婦です

②④

いのち



救急医療が守ります

「救急の日」から1週間は「救急医療週間」です。期間中は救急医療等について理解と認識を深める、いろいろな運動が行われます。みなさんの参加、協力をお願いいたします。

9月9日は「救急の日」です

お盆が終わり、ホッとすけるのも束の間、出稼検診も終盤戦といったところ。この頃になるとちよつと気になり出すのが胃の検診結果。私の顔を見るや、連想ゲームのように「私、胃の検診ひつかからねけが？」などと聞く人もおられます。今年も昨年より胃検診を受けた人数が上回る傾向ですが、毎年問題になるのが精密検査となった人たちの受診率が低いことです。(本荘、由利地区で一番低い)

バリウム透視では胃の内

心配する前に精密検査を

部の壁を肉眼で見ることができず、確定診断には向きません。白黒のシルエット(陰影)を頼りに、より精密に検査が必要か否か、専門医がふりにかけるのです。

精密検査の通知が届いた日から、ろくろく食事ものどを通らず、夜も眠れないくらい心配して云々などという話を聞かされたりすると、人はとかく、異常かどうかともわからない時から不安な思いをしていることに、集団検診の限界をみる思いがします。

しかし、胃癌などのように早期発見ができなければ命を奪われてしまうような事だけは、どうしても避けなければなりません。

無症状の病といわれる「ガ」から身を守るためにも……

(保健婦・小松)

さわやか君

西村 宗



厚生年金保険・国民年金保険加入者の方へ

住宅資金の融資が 受けられます

年金に加入している方は、住宅資金の融資が受けられます。これは、国が年金資金を活用し、年金加入者に低利で長期に住宅資金を融資するシステムです。

●融資が受けられる方

厚生年金保険・国民年金保険ともに、加入期間が3年以上の方。

●融資額

厚生年金保険加入者の場合は一般貸付金が最高限度額600万円、特別貸付金が最高限度額400万円、合わせて最高1,000万円まで借りられます。

国民年金保険加入者の場合は加入年数によって、最高300万円まで借りられます。

●融資利率と住宅基準

一般住宅…居住面積が120㎡以下の住宅。
大型住宅A…居住面積が120㎡を超え、145㎡以下の住宅。
大型住宅B…居住面積が145㎡を超え、180㎡以下の住宅。

区分	一般住宅	大型住宅A	大型住宅B
一般貸付金	年5.75%	年5.95%	年6.15%
特別貸付金	年6.15%	年6.3%	年6.45%

●返済期間

新築住宅…10年～35年(5年きざみ)
中古住宅…10年～20年(5年きざみ)
住宅改良…5年と10年

詳しくは、「年金福祉事業団代理店」の表示がある金融機関、または、年金福祉事業団にお尋ねください。

わが町スーパーフ

「町の銘産品」 「たずねある記」

⑥

「ふるさとの味」山菜缶詰

タケノコ、サシなど豊富な種類と量の町内産山菜を、旬だけの味覚に止めず、通年の味覚とするため保存のきくよう加工したのが「ふるさとの味」山菜缶詰で、大琴など町内の加工生産グループによって年間2万個以上が製造されています。



しているグループもあり、町出身者などから新しいまごころ産品として、熱い期待が寄せ始められています。

今月の催し

- 5日・町連合PTA研究集会(有隣館)・子宮がん検診(同)
 - 8日・子宮がん検診(克雪センター、大蔵館)
 - 10日・青少年劇場(東中体育館)ことぶき大学(朋楽荘)
 - 11日・不用犬捕獲日・成人病予防教室(八塩館、住吉会館)
 - 12日・子宮がん検診(大琴診療所)成人病予防教室(館合集会所)
 - 16日～18日・成人病予防教室(16日有隣館、克雪センター、17日大蔵館、18日高瀬館)
 - 22日・献血車来町
 - 26日・農業委員会
- 9月定例町議会を中旬に予定しています。

*ありがとう

●松柴の小松安雄さんから香

典返しに替え金一封が町社会福祉協議会へ届けられました。ありがとうございます。

NHK青年の主張全国コンクール秋田県大会出場者募集
応募資格 県内在住の15歳から25歳までの方。
主張テーマ ①青春独立宣言 ②キャンパスにかけた夢 ③僕は地球人
応募方法 主張したいテーマを原稿にし、5分以内で発表し終わるもの(4百字詰原稿用紙4枚程度)を、秋田市山王1の1の2・NHK秋田放送局「青年の主張」係(☎0188-2315411)に送る。
締切り 10月17日(金)
詳しくはNHK秋田放送局にお問い合わせください。

Uターン 就職情報提供中

県内の企業では、技術者の需要が高まっており、各職種にわたり経験豊かな人材を求めています。県外で技術職に従事している方で、地元でUターンしたいという方のため

に、就職情報を提供し、企業との取り次ぎをしています。でお早目にご相談ください。相談窓口は、町役場企画財政課☎69-2110または、県庁職業安定課Uターン対策担当☎0188-601747です。

情報コーナー

東由利'61

シリーズ・町内各団体長に聞く テーマ〈私の考える町づくり〉

No. 6 東由利町連合婦人会長 小松 ミキさん

消費者問題はあまりにも多様化してきており、情報と勧誘の波が私たちをとりまいています。とかく私たちが婦人は、「経済」をむずかしいこととしてとらえ敬遠しがちですが、こうした時代こそ私たち婦人が真剣に学び、あらゆる角度からムダとミエを省いていかなければならないものと思います。そのためには、婦人会という組織の輪を広げ、一人ではなくみんなで学び合える場づくりが必要かと思っています。そして、冠婚葬祭の合理化など、古くて新しい問題に、みながこぞって参加し、町民ぐるみの運動を展開していかなければならないと考えます。

今後、明るく住み良い町づくりのために、私たち婦人会は婦人の立場でお手伝いしていきたいと思っています。



「ラジオ体操」

撮影・大坂イヨさん（下通）

夏休み中に行われた「ラジオ体操」（湯出野）での一コマです。朝早いので寝ぼけながら体操をしている子が印象的でした。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

私もひところり……

8月24日、好天に恵まれ第18回町民運動会が盛会に行われました。参加した約3千5百人の町民の中から3人の方に意見を聞いてみました。



毎年楽しく参加させていたでいてあります。しかし、プログラムがマンネリ化してきているようです。奇抜なアイデアで来年はもっと楽しく……。
(田代・渡辺幸子さん)



2年後は、記念すべき第20回大会です。ビックな企画をぜひ期待しておりますので、今から町民のアイデアを募るなど、早目に計画を立てて……。
(下通・小松吉男さん)



グラウンドへの本部棟建設は長年の懸案です。間伐材利用の単純なものでもいいと思いますので、建設の早期実現をぜひお願いいたします。
(横渡・阿部悟朗さん)

戸籍の窓口

(7/21～8/20届出・敬称略)

うぶ声



おくやみ



遠藤 勇太(弟三之長男) 横渡
木島 由香(弟清夫二女) 大台
小松 なる美(弟徳行二女) 新町
佐藤 恵(弟範男長女) 黒渕
小笠原 力(弟均二男) 蔵新田
伊東 夏生(弟佐藤志長女) 大琴

小野 長一(64 ナツ子・夫) 黒沢
佐々木ノエ(95 儀助・母) 下
佐々木トクヨ(83 一郎・母) 大琴

町民の声を町政に！

町長面会日今月は20日

町の二統計 8月(7/1～7/31)

●人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,020人 (3)	●出生 5人 (35)
・女 3,104人 (△2)	●死亡 2人 (30)
・計 6,124人 (1)	●結婚 1組 (15)
●世帯数 1,465世帯 (△1)	●離婚 一組 (1)
●ゴミ処理量-----	37 t (254)
●火災発生件数-----	2 件 (7)
●救急車出動回数-----	5 件 (55)
●交通事故(人身)-----	1 件 (8)
●交通死亡事故「0」継続日数-----	2,237日
●総合開発センター「有隣館」利用者数	1,712人 (10,604)
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	1,423人 (4,144)

自動車に乗ったらシートベルト



●シートベルトとヘルメット。どちらも命を守る大切なもの。忘れずに、正しく着用しましょう。

バイクを運転するときはヘルメット

9月21日～30日 秋の全国交通安全運動